

2019年大阪G20、2025年大阪・関西万博には  
世界の命運がかかっています

地球温暖化は、恐ろしいほどの勢いで進行しています。しかしながら、地球温暖化は、人間が協力し合えばいくとめることのできる、「人間が作りだしている」危機です。

ですから、国連に加盟している194のすべての国が、地球の温度上昇を1.5℃から2℃まで食い止め、そのために2050年に出来るだけ近い今世紀の後半に、化石資源の使用をほぼゼロにするという「パリ協定」に合意しました。

日本でも「脱炭素化をめざす世界の最前線に日本から参加する」を合言葉に、気候変動対策に積極的に取り組む企業や自治体、NGOが「気候変動イニシアチブ(JCI)」という組織を立ち上げ、数百の団体が参加し、その数は日に日に増えています。私は、日本にも生まれてきた新しい力とともに、吹田市という場を使って地球温暖化対策を少しでも前に進めていきたいのです。

G20、万博の最大のテーマは、この地球温暖化対策です。是非私のHPなどで、世界の現実を知っていただきたいと思います。

山口克也の著書



誠実に勇気をもって闘ってきました。

- 吹田市に建設された焼却場更新のコストを大幅に削減
- 万博美術館・万博ホールの保存活動から始まり、万博記念公園の維持のため努力しました。
- 吹田市の事業見直し、福祉政策の切り捨てを防ぐため、精一杯議会で抵抗しました。
- 国立循環器病研究センター・吹田市民病院の現地建て替えを実現しようとしたが、なりませんでした。その他吹田市の「良さ・遺産」を守るために闘いました。

前回の市長選からは、地球温暖化対策と  
少子高齢化の研究と著作を行いました。

吹田市は、まだまだ良くなります

2025年の大阪・関西万博の機会を利用して、吹田市を千年持続可能なまち、(SDGs先進都市)にできます。'70万博の歴史を引き継ぐ文化と公園の街、日本の文化を1000年繋ぐ美術館、ゴミ処理から二酸化炭素を出さない先進の技術の導入、全ての世代の人が助け合う、高齢者も希望をもてる福祉の街、自然の脅威に対応できる「安全・安心のまちづくり」など、このまちの良さを深掘りし、住んでいる人たちが幸せを感じられるまちづくりが、まだまだ展開できます。

しかし、今の行政だけに任せておけません

今の岸部駅周辺開発・健都開発をもって、本当に吹田市が良くなったと感じる市民は少ないでしょう。また、この10年の吹田市は、市民へのサービスを切り下げ続けたことも事実だと思います。吹田市が、吹田市という行政組織のためではなく、一人ひとりの市民の方を向いて行政を行うようにするためには、議会の力そして市民の目で、たえまないチェックを行う必要があります。

**専門家の知識と、市民の目を持った議員が必要**です  
これから、万博記念公園を2025大阪・関西万博のサテライト会場にする場合においても、吹田中央図書館の建て替えを行うにおいても、さらには保育園・幼稚園・小中学校・公民館・さまざまな福祉施設を吹田市がリニューアルしていくにおいても、さらには都市計画を進めるにおいても、専門家に近い知識と、専門家とは一線を画す市民の目の両方を持った議員が必要になります。



元 吹田市議会議員  
山口総合政策研究所 所長

山口 克也  
やまぐち  
ここに道がある

ホームページにて活動報告発信中!

<http://yamaguchikatsuya.net/>

山口総合政策研究所

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町25-12 HP: <http://yamaguchikatsuya.net/>  
TEL:06-6330-6721 FAX:06-6369-3734 E-mail:katsuya1201@u01.gate01.com